

平成28年度病虫害発生予察予報第9号（12月）

平成28年12月5日

高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量※
促成キュウリ	べと病 うどんこ病 タバココナジラミ 黄化えそ病 ミナミキイロアザミウマ ハスモンヨトウ	<u>やや多(西)</u> 、平年並(中央)、やや少(中西) <u>やや多(中央)</u> 、やや少(西)、少(中西) やや少(西)、少(中央、中西) やや少(中央)、少(中西、西) <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(西)</u> 、少(中西) <u>多(中央)</u> 、 <u>やや多(西)</u> 、少(中西)
促成ナス	うどんこ病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	平年並(中央、西)、少(東) <u>多(中央、西)</u> 、平年並(東) やや少(西)、少(東、中央) 平年並(東)、やや少(中央、西)
促成ピーマン ・シシトウ	うどんこ病 斑点病 黒枯病 ミナミキイロアザミウマ タバココナジラミ	やや少(中央、中西)、少(東) <u>多(中央)</u> 、平年並(東、中西) <u>やや多(中央、中西)</u> 、平年並(東) <u>やや多(中央)</u> 、平年並(東)、少(中西) <u>やや多(東)</u> 、平年並(中央)、やや少(中西)
促成トマト	葉かび病 すすかび病 うどんこ病 黄化葉巻病 タバココナジラミ	少(中央) <u>多(中央)</u> <u>多(中央)</u> 少(中央) 少(中央)

※ () 内の表記 東：県東部、中央：県中央部、中西：県中西部、西：県西部

I 気象予報（高松地方気象台12月 1 日発表）

＜予想される向こう 1 か月の天候＞12月 3 日から 1 月 2 日

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 ヶ月の平均気温は平年並または高い確率ともに40％です。

週別の気温は 1 週目は高い確率50％です。

＜向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
1 ヶ月	四国地方	気温	20	40	40
		降水量	30	40	30
		日照時間	30	40	30

＜気温経過の各階級の確率（％）＞

期間	対象地域	低い	平年並	高い
1 週目	四国地方	10	40	50
2 週目		30	40	30
3 ～ 4 週目		30	40	30

＜予報の対象期間＞

1 ヶ月：12月 3 日（土）～ 1 月 2 日（月）

1 週目：12月 3 日（土）～12月 9 日（金）

2 週目：12月10日（土）～12月16日（金）

3 ～ 4 週目：12月17日（土）～12月30日（金）

II 病虫害発生予想

1 抑制、促成キュウリの病虫害

1) ベと病

予 想 発生量：やや多（西部）、平年並（中央部）、やや少（中西部）

根 拠

(1)巡回調査では県中央部、西部で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年並～やや少なめであり発病程度も低かった。

(2)本病は20℃前後、多湿条件下で発病が多くなる。気温の低下とともに発病しやすい条件になるため、既発ほ場では病勢が進展、現在、未発生のは場でも発生すると考えられる。

対 策

(1)多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

2) うどんこ病

予 想 発生量：やや多（中央部）、やや少（西部）、少（中西部）

根 拠

(1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では平年に比べ発生面積が多

く、発病程度も高かったが、他の地域では目立った発生は見られなかった。

(2) 気温の低下にともない本病の発生は少なくなるが、12月の気温は高めと予想されているため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。ガッテン乳剤、プロパティフロアブルを使用した場合、菌叢の褐変、消失は見られないので防除効果は上位葉への進展など、未発生葉への進展状況で判断する。

3) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや少（西部）、少（中央部、中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も発生面積は平年に比べ少なかった。寄生密度も県中央部、中西部では平年に比べ低かったが、西部では高く、一部のほ場ではキュウリ退緑黄化病（CCYV）の発生も確認された。

(2) 気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

4) 黄化えそ病

予 想 発生量：やや少（中央部）、少（中西部、西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で発生が見られた。全般的に発生面積は平年に比べ少なめだが、県中央部では新たなほ場での発生が見られた。

(2) 気温の低下にともない本病の媒介虫であるミナミキイロアザミウマの増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除を低密度時に徹底する。また、罹病株は早期に除去し、埋設するなどの処分を行う。

5) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：多（中央）、やや多（西部）、少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。県中央部、西部では平年に比べ発生面積が多く寄生密度も高かったが、株あたりの寄生密度が高いほ場はなく、被害はほとんど見られなかった。

(2) 気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

6) ハスモンヨトウ

予 想 発生量：多（中央）、やや多（西部）、少（中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部、西部では平年に比べ発生面積も多く、寄生密度も高かったが、果実への被害はほとんど見られなかった。
- (2)気温の低下にともない増殖も緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)成虫は植物体に卵塊を産みつける。ハウス開口部にネット被覆をしている場合、ネットに産み付けられた卵塊から孵化した幼虫がハウス内に侵入するので注意する。

2 促成ナスの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：平年並（中央部、西部）、少（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。平年に比べ発生面積が多い地域は見られなかったが、県西部では平年に比べ発病程度が高かった。
- (2)気温の低下とともに本病の発生は少なくなるが、12月の気温は高めと予想されているため現在と同じ傾向が続くと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 黒枯病

予 想 発生量：多（中央部、西部）、平年並（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県東部では発生面積、発病程度とも平年並であったが、中央部、西部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かった。
- (2)気温の低下とともに病勢の進展は緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや少（西部）、少（東部、中央部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年より少なめであったが、県西部では寄生密度が高めであった。
- (2)気温の低下にともない増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

4) タバココナジラミ

予 想 発生量：平年並（東部）、やや少（中央部、西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。いずれの地域も発生面積は平年並～やや少なめであった。県西部では平年に比べ寄生密度が高めであったが、葉あたりの寄生頭数は少なく、すす病の発生は見られなかった。
- (2)気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1)本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

3 促成ピーマン、シシトウの病害虫

1) うどんこ病

予 想 発生量：やや少（中央部、中西部）、少（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られたが、いずれの地域も平年に比べ発生面積は少なめであり、発病程度も低かった。
- (2)12月の降水量は平年並と予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1)他の糸状菌病害とは異なり、やや乾燥条件での発病が多くなる。多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。

2) 斑点病

予 想 発生量：多（中央部）、平年並（東部、中西部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。県中央部では平年に比べ発生面積が多く、発病程度も高かったが、東部、中西部では平年並の発生であった。
- (2)12月の降水量は平年並と予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2)発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) 黒枯病

予 想 発生量：やや多（中央部、中西部）、平年並（東部）

根 拠

- (1)巡回調査では県下全域で発生が見られた。発生面積は中央部、中西部が多かったが、東部は平年並であった。発病程度はいずれの地域も低かった。
- (2)12月の降水量は平年並と予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1)多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生量：やや多（中央部）、平年並（東部）、少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。発生面積は県中央部が多めであったが、東部では平年並、中西部は少くなめであった。いずれの地域も寄生密度が高いほ場はなく、果実被害も見られなかった。

(2) 気温の低下にともない増殖が緩慢になるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるため、低密度時の防除を徹底する。また、薬剤抵抗性が発達しているため、天敵の利用など、農薬以外の防除方法も取り入れる。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：やや多（東部）、平年並（中央部）、やや少（中西部）

根 拠

(1) 巡回調査では県下全域で見られた。発生面積は県東部でやや多めであったが、他の地域は平年並以下であった。寄生密度は県中西部で高かったが、すす病の発生は見られなかった。

(2) 気温の低下とともに増殖が緩慢となるため現在の状況が続くと考えられる。

対 策

(1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。

4 促成トマトの病害虫

1) 葉かび病

予 想 発生量：少（中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では発生が見られなかった。

(2) 12月の降水量は平年並と予想されているため、発生はほとんどないと考えられる。

対 策

(1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。

(2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

2) すすかび病

予 想 発生量：多（中央部）

根 拠

(1) 巡回調査では平年に比べ多めの発生であった。下葉中心の発生であったが、発病程度も平年に比べ高めであった。

(2) 12月の降水量は平年並と予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

3) うどんこ病

予 想 発生量：多(中央部)

根 拠

- (1) 巡回調査では調査ほ場の3割程度で発生が見られた。下葉中心の発生であったが、平年に比べ発生面積も多く、発病程度も高かった。
- (2) 12月の降水量は平年並と予想されているため、病勢の進展は少ないと考えられる。

対 策

- (1) 多発すると防除が困難になるので発生初期の防除を徹底するとともに、換気により、ハウス内湿度の低下に努める。
- (2) 発病葉は早めに除去し、ほ場外に持ち出し処分する。

4) 黄化葉巻病

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1) 巡回調査での発生は見られなかった。
- (2) 気温の低下にともない、本病の媒介虫であるタバココナジラミの増殖が緩慢になるため、現在の状況が続くと考えられる。また、野外から施設内への侵入は無くなるため、現在、発生していないほ場での新たな発生はないと考えられる。

対 策

- (1) 媒介虫であるタバココナジラミの防除を徹底する。また、罹病株はほ場外に持ち出し、埋設するなどして処分する。

5) タバココナジラミ

予 想 発生量：少(中央部)

根 拠

- (1) 巡回調査では一部のほ場で発生が見られた程度であり、寄生密度も低かった。
- (2) 気温の低下とともに増殖が緩慢となるため、現在の状況が続くと考えられる。

対 策

- (1) 本虫は生長点付近に成虫が産卵するので、薬剤防除を行う場合、上位葉を中心に発生初期の防除を徹底する。また、本虫は黄化葉巻病を媒介するので注意する。

農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

病虫害防除所ホームページ (こうち農業ネット)

- ① 病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ② 病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③ 病虫害発生予察技術資料
- ④ 新しく問題となっている病虫害 etc.